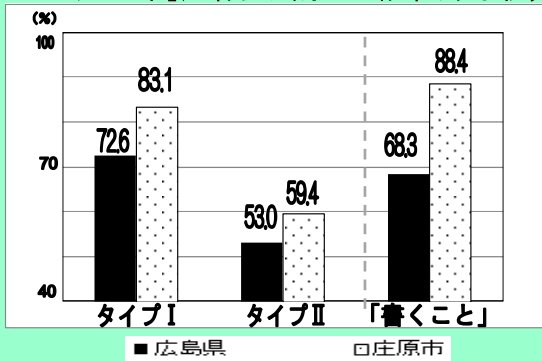


# 庄原市の取組

## 学力調査の結果における特徴～中学校英語を中心に～

### H28「基礎・基本」定着状況調査の結果(中学校英語)



○中学校英語「基礎・基本」定着状況調査について、タイプI、タイプII、全ての領域において県平均を上回っている。

タイプI 83.1% (県平均 +10.5P)

タイプII 59.4% (県平均 +6.4P)

「書くこと」 88.4% (県平均 +20.1P)

○中学校英語に関する生徒質問紙調査の結果について

「基礎・基本」定着状況調査 生徒質問紙調査「教科学習への意識」の肯定的回答の割合

・「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしていません。」

64.3% (県平均 +11.5P)

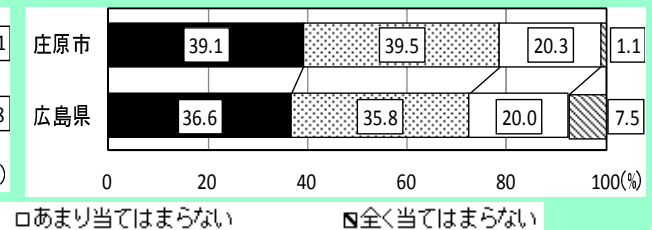
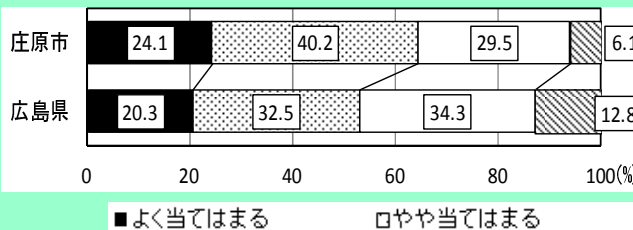
・「英語の授業では、英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、一文一文を正しく書くこととともに、文と文とのつながりに注意しています。」

78.6% (県平均 +6.2P)

### H28「基礎・基本」定着状況調査(生徒質問紙調査)

英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。

英語の授業では、英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、一文一文を正しく書くこととともに、文と文とのつながりに注意しています。



## 教育委員会の取組

### つながりのある外国語教育を目指して ～学ぶ意欲を育てる小中連携～

#### ■庄原市外国語教育研修会【市主催】

外国語教育推進企画委員会(市内の管理職・教諭へ委嘱)を組織し、小中学校合同の研修会を企画・運営しています。

##### ① 小学校外国語活動の授業参観

中学校教員が児童の実態を知ること、中学校の入門期への円滑な接続を図ったり、小学校で育てたい態度や力について協議したりしています。

##### ② 中学校外国語科の授業参観

小学校教員が生徒の実態を知ること、小学校における児童の目指す姿を明確にしたり、小学校で培われた「コミュニケーション能力」の大切さを実感したりすることができています。

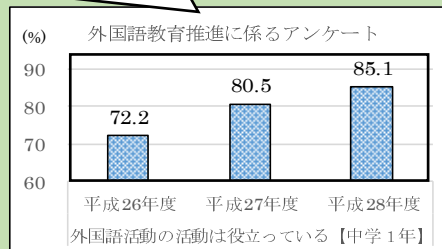
##### ③ 小中連携の取組について交流

授業参観後に、中学校区の実態に応じて連携を行っています。

本市外国語教育の推進に向け、小学校外国語活動と中学校外国語科が効果的につながることをねらいとして、平成25年度から本研修会を継続して実施しています。

#### ■児童生徒アンケート(1学期実施)

毎年市内小学校第6学年児童と中学校第1学年生徒を対象としたアンケートを実施し、実態把握に努めています。



コミュニケーション能力の素地の育成

#### ■ワークショップ(年1回8月に開催)

小・中学校教員が合同で、工夫された教材・指導方法を体験し、自らの授業実践につなげる研修を行っています。



コミュニケーションの楽しさを体験(小中教員)

小学校段階で積極的にコミュニケーションを図る態度を育成することが、中学校スタート段階の英語学習に対するギャップを減らすことにつながっています。中学校では、聞いたり話したりしたことについて英文を読んだり書いたりする統合的な活動となるよう取り組んでいます。

# 学校の取組

## 「年間を見通した教科部会の取組」

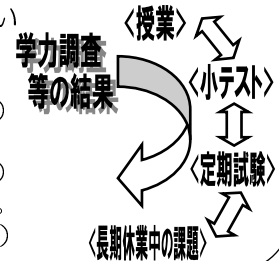
## 庄原市立庄原中学校

庄原中学校英語部会では、「基礎・基本」定着状況調査等の学力調査の結果を基に分析を行い、課題を共有するとともに、課題に対する取組を年間計画に位置付けています。また、学習意欲と自信を持たせる取組も進めています。

### 基礎・基本の徹底

課題がみられる学習内容について、様々な場で繰り返し問題を解かせ、定着させます。

- つながりのある英文にするためのポイントを考えさせ、説明させる授業を実施しています。(授業)
- 基礎・基本の定着を図るために、学力調査等で通過率の低かった問題を中心に類似問題を作成し、小テストとして実施しています。(小テスト)
- 基礎・基本の定着を図り今後の取組を進めるために、授業及び小テスト等での学習内容を定期試験に出題し、分析しています。(定期試験)
- 定期試験等の結果を基に、長期休業中の課題を作成し、生徒に取り組みさせています。その後、休み明けテストを行い、定着度を把握しています。(長期休業中の課題)



### 表現する場の設定と評価の取組

学習の成果発表の場を設定し、積極的に評価を行います。



#### 取組①《庄中英検》

教科書の単語や英文を3年間分まとめた本校オリジナルの冊子を作成し、年間を通して英語科独自の検定を行い、評価します。

#### 取組②《スーパーインプット》

継続して授業の最初に基本文の確認を対話形式のペアワークで行い、基礎・基本の徹底とともに、表現することに自信を持たせています。



#### 取組③《書く→発表》

5文以上のつながりのある英作文を作成させ、それを発表させ、内容とともに表現力についても評価します。

## 「長期的展望を持ったライティング指導」

## 庄原市立高野中学校

高野中学校では、全学年で設定した学期ごとに到達すべき目標を生徒に「Can-Do リスト」として提示し、その達成を目指して日々の授業を行っています。特に、「書くこと」については、既習事項の定着を図るため指導を徹底することに加え、次のような学期を通した計画に基づく指導を行っています。

### —「書くこと」における指導の工夫—

#### (1) 「Can-Do リスト」による明確なゴール設定と学習意欲の向上

- ・毎学期初めに全学年に課題を提示し、身に付けるべき力や目標を明確にしています。  
例) 2年生1学期「私の夢の旅行を先生に紹介」

#### (2) 英語表現の確実な定着のための取組

- ・「書く」「話す」などの活動を統合的に仕組みます。  
例) ①教師との1対1スピーキング：書く→話す  
基本文型を書くトレーニングの後、教師と対話を行う活動
- ②チャット活動：話す→聞く→書く  
ペアトークを行い、互いに聞き取った内容を話し手にレポートする活動
- ③Good listener：聞く→書く→話す  
ペアになり、聞き手は話し手が話した内容をメモし、自分の考えを即興的に話し手に伝える活動

#### (3) 教師による到達度の把握

- ・課題達成に向け、定期試験やインタビューテストを実施し、定着度の強化を図ります。

【Text Part6】1問 20秒以内  
Were you-?の英文は上げて読む



教師とのスピーキングで基本文型を確認する

A: Do you like your mother?  
B: Yes, I do.  
I like her and she likes me.



Can-Do リスト



テーマを基にペアでトークをする